

南アルプス市立八田小学校 後期自己評価書

令和2年1月7日(火)作成

学校長：石井 敬

記述者：教頭 小田切 英史

【小中一貫校八田小中学校の教育】

1. 教育目標 「ふるさとの未来（あす）を創造する児童生徒の育成」
～知・徳・体の調和のとれた児童生徒の育成を目指して～
2. 『八田 Children first』 「明るい 伸びゆく 夢みる」児童から「未来を展く 理想は高く 世界をめざす」生徒へ
小中一貫校八田小中学校の教育は，【八田 Children first】をコンセプトに『1. 学習をつなぐ 2. 児童生徒をつなぐ 3. 教職員をつなぐ 4. 学校・家庭・地域をつなぐ』の4つの『つなぐプロジェクト』を柱とし，義務教育9年間で「途切れのない連続させた教育」となるよう取り組みます。
3. めざす児童生徒像
 - ふるさとを大切に思う児童生徒
 - 変化の激しい先行き不透明な社会に対応できる主体性のある児童生徒
 - 自律性・豊かな人間性を持ち，たくましく生きていくための健康，体力を持った児童生徒

【学校経営の概要】

- 1 学校教育目標
「豊かな心を持ち かしこく たくましい子どもの育成」
- 2 めざす子ども像
 - 〔なかよく〕 思いやりの心を持ち 礼儀正しく行動する子ども
 - 〔かしこく〕 自ら学び 友と対話し 深く考える子ども
 - 〔たくましく〕 よく食べ よく運動し 命を大切にする子ども
- 3 めざす学校像
 - (1) よく学び，よく働く学校
 - (2) 整然とした，美しい学校
 - (3) 仲良く助け合い，和やかで楽しい学校
 - (4) 安心・安全な学校
 - (5) 地域に開かれ，地域から信頼される学校
- 4 基本方針 「生きる力をはぐくむ教育の実践」
 - (1) すべての教育活動を子どもの育成に収斂させる。
 - (2) 南アルプス市学校教育大綱・学校教育指導重点・新やまなしの教育振興プラン等各種法令に則った教育活動を行う。
 - (3) 子どもを守り，育てるために地域や保護者と連携する。
- 5 特色ある教育活動
 - (1) 小笠原流礼法・立腰教育 心と体のバランスのとれた子ども
 - (2) ふるさと教育 文化財課との連携や地域の人材を活用し，ふるさと八田を愛し，ふるさと八田に誇りをもつ子ども
 - (3) 川柳 言葉を大切にし，感性を豊かにする子ども
 - (4) 緑のカーテン 自然や環境問題に関心をもつ子ども
 - (5) 清流祭 音楽を通して心をつなにし，互いの絆を深めようとする子ども
- 6 本年度の努力点
 - (1) 義務教育9年間を見通した教育課程をもとに，小中一貫教育を推進する。
 - (2) 学びの質を高める授業づくりを推進し，学習意欲の向上と確かな学力の育成を図る。
 - (3) 豊かな心を育成する道徳教育の充実を図る。
 - (4) いじめを許さない集団づくりと不登校児童が生じない環境づくりに努める。
 - (5) 命，体力，健康・安全，食育に関する指導の充実を努める。
 - (6) 指導と支援にもとづく特別支援教育を推進し，その充実を図る。

I 後期学校評価の結果（前期学校評価との比較を含む）

1. 教職員の自己評価

※本年度南アルプス市より「小中一貫校八田小中学校」に制定され、自己評価の項目も小学校と同一のものとした。

(1) 後期の結果

① A・B（肯定的評価）の合計が100%の項目

11項目（前期：8項目）

② A・B（肯定的評価）の合計が80%未満の項目

「学校経営2：生徒は小中一貫校の教育目標『ふるさとの未来（あす）を創造する児童生徒の育成』達成に近づくため、各自の目標を持って学校生活を送っていると思いますか。」（75.0%）

③ C・D（否定的評価）の評価がついた項目

「学校経営2：生徒は小中一貫校の教育目標『ふるさとの未来（あす）を創造する児童生徒の育成』達成に近づくため、各自の目標を持って学校生活を送っていると思いますか。」（C6名）

「学校経営5：学校は、児童生徒の安全が確保されるように教育環境（防災教育・防犯教育を含む）を整えていますか。」（C1名）

「学校経営8：学校は、経営（運営）を充実したものとするために業務改善を推進していますか。」（C1名）

「教育課程・学習指導11：八田小中スタンダード（含む、教科別年間指導計画）を活用していますか。」

（C1名）

「教育課程・学習指導14：計画的な家庭学習の手立てをしていますか。」（C1名）

「生徒指導16：いじめなどのない楽しい学級づくりに努めていますか。」（C1名）

「生徒指導17：保護者（家庭）とは密に情報交換し、指導に取り組んでいますか。」（C1名）

「生徒指導18：外部関係機関を積極的に活用し、児童生徒の健全育成に努めていますか。（特別支援教育も含める。）」（C1名）

「特色ある開かれた学校21：合唱活動の充実や運動会（体育祭）等の特色ある学校行事が充実するように努めていますか。」（C2名）

「特色ある開かれた学校22：小笠原流礼法を意識させ、心と体のバランスのとれた児童生徒の育成に努めていますか。」（C2名）

(2) 前期との比較

① A・B評価の合計が10%以上向上した項目

「学校経営5：学校は、児童生徒の安全が確保されるように教育環境（防災教育・防犯教育を含む）を整えていますか。」（85.7%→95.8%）

「学校経営7：小中一貫校（分離型）として、児童生徒の交流や、職員の交流を積極的に行っていると思いますか。」（85.7%→95.8%）

② A・B評価の合計が10%以上減少した項目

項目なし

(3) これまでの成果と今後の取組課題（自由記述より抜粋）

○1学期の非常に落ち着かない状況から比較すると、校舎内外を徘徊する児童がほとんどなくなり、本来の学校の姿を取り戻しつつある。今後はさらにもう1ステップ上を目指し、見守りが少なくなったり、なくなったりしても、本来の指導体制の中で、個々がそれぞれの教室で学習に臨めるとよい。低学力の児童の支援が薄くなっている現状が続いており、全体的な学力低下が危惧されている。

○小さなトラブルはもちろんあるものの。4月と比較すると児童全体として落ち着きが見られるようになり、善悪の判断も少しできるようになってきた気がする。しかし、廊下を走る児童の数は依然多く、その行為自体を悪いと思っていないような感じを受ける。

○日を追うごとに子どもたちが落ち着いた学校生活を送れてきていると感じる。

○地域の教育力を活かすことに関しては、年間を通して米作りに協力していただき、大変お世話になった。

○何気なく使っている言葉遣いが気になる。場をわきまえた、また、相手のことを考えた言葉の使い方の指導が必要だと思う。（素直に何でも言えるのはよいが、相手を傷つける言葉を平気で使う。）

○「校舎内の過ごし方に関して」廊下を歩く時、教室移動の時、給食棟内のマナーなど共通理解のもと指導することが必要でないかと感じる。皆が気持ちよく過ごせるよう、意識を向けさせていきたい。

2. 学校生活に関する児童アンケート

※今年度より中学校とほぼ同様の項目とした。ただし、発達段階が違うので表現が少し異なっている。

(1) 後期の結果

① A・B (肯定的評価) が高い (80%以上) 項目について

20項目中14項目において、肯定的評価が80%以上となっている。また、90%以上が11項目あり、各学年においては、以下のようなものである。

② A・B (肯定的評価) が低い (80%未満) 項目について

ア 1年生の評価

項目なし。

イ 2年生の評価

7項目。

「学校が 楽しいですか。」 (73.2%)

「授業中、質問や意見を言いますか。」 (66.7%)

「背筋を伸ばし、良い姿勢で学習をしていますか。」 (75.0%)

「宿題のほかに 家庭学習 (塾 や家庭教師をのぞく) をしていますか。(自主学习ノートを含む)」
(58.3%)

「家で、本を読みますか。(宿題をのぞく)」 (65.0%)

「困ったことや心配なことがあったら、先生に言いますか。」 (71.2%)

「家の人に学校のようすを話していますか。」 (56.7%)

ウ 3年生の評価

4項目。

「宿題のほかに 家庭学習 (塾 や家庭教師をのぞく) をしていますか。(自主学习ノートを含む)」
(71.2%)

「困ったことや心配なことがあったら、先生に言いますか。」 (72.9%)

「外あそびや 運動をしていますか。」 (78.0%)

「家の人に学校のようすを話していますか。」 (72.9%)

エ 4年生の評価

4項目。

「授業中、質問や意見を言いますか。」 (78.0%)

「宿題のほかに 家庭学習 (塾 や家庭教師をのぞく) をしていますか。(自主学习ノートを含む)」
(66.0%)

「困ったことや心配なことがあったら、先生に言いますか。」 (76.0%)

「家の人に学校のようすを話していますか。」 (76.0%)

オ 5年生の評価

7項目。

「授業中、質問や意見を言いますか。」 (54.2%)

「背筋を伸ばし、良い姿勢で学習をしていますか。」 (54.2%)

「宿題のほかに 家庭学習 (塾 や家庭教師をのぞく) をしていますか。(自主学习ノートを含む)」
(44.1%)

「家で、本を読みますか。(宿題をのぞく)」 (69.5%)

「困ったことや心配なことがあったら、先生に言いますか。」 (66.1%)

「外あそびや 運動をしていますか。」 (72.9%)

「家の人に学校のようすを話していますか。」 (69.5%)

カ 6年生の評価

5項目。

「授業中、質問や意見を言いますか。」 (72.0%)

「背筋を伸ばし、良い姿勢で学習をしていますか。」 (53.1%)

「宿題のほかに 家庭学習 (塾 や家庭教師をのぞく) をしていますか。(自主学习ノートを含む)」
(56.0%)

「家で、本を読みますか。(宿題をのぞく)」 (60.0%)

「困ったことや心配なことがあったら、先生に言いますか。」 (57.1%)

(2) 前期との比較

① A・B評価の合計が10%以上向上した項目

10%以上向上した項目はないが、やや向上してきている項目は次の通りである。

「学校が 楽しいですか。」(90.8%→92.5%)

「学校の授業が わかりますか。」(92.7%→94.0%)

「先生や 友だちの話を しっかり聞いていますか。」(95.9%→97.8%)

「自分からあいさつをしていますか。」(89.9%→91.5%)

「月曜日から金曜日までのすいみん時間が8時間より多いですか。」(84.5%→85.5%)

また、各学年では、10%以上向上してきている項目は合わせて4項目あり◎がついている。5%以上向上してきている項目は○がついており、以下の通りである。

【1年】

◎「家で、本を読みますか。(宿題をのぞく)」(75.0%→90.0%)

◎「朝ごはんを食べて、登校していますか。」(87.5%→97.5%)

○「授業中、質問や意見を言いますか。」(90.0%→95.0%)

○「学校のきまりを守っていますか。」(95.0%→100.0%)

○「登校や 下校では、決められた通学路を ルールを守って歩いていますか。」
(92.5%→97.5%)

【2年】

◎「学校が 楽しいですか。」(73.2%→85.0%)

○「外あそびや 運動をしていますか。」(89.5%→95.0%)

【3年】

○「月曜日から金曜日までのすいみん時間が8時間より多いですか。」(81.0%→88.1%)

【4年】

◎「月曜日から金曜日までのすいみん時間が8時間より多いですか。」(82.0%→96.0%)

○「時間を守って行動していますか。」(94.0%→100.0%)

○「家の人に学校のようすを話していますか。」(68.0%→76.0%)

【5年】

○「相手の気持ちを考えて、行動していますか。」(85.0%→91.5%)

○「朝ごはんを食べて、登校していますか。」(93.3%→100.0%)

【6年】

◎「背筋を伸ばし、良い姿勢で学習をしていますか。」(37.3%→53.1%)

○「学校が 楽しいですか。」(92.2%→98.0%)

○「授業中、質問や意見を言いますか。」(66.7%→72.0%)

○「相手の気持ちを考えて、行動していますか。」(90.2%→96.0%)

○「先生や 友だちの話を しっかり聞いていますか。」(90.2%→98.0%)

○「自分からあいさつをしていますか。」(90.2%→98.0%)

② A・B評価の合計が10%以上減少した項目

10%以上減少した項目はないが、2項目で5%以上減少が見られた。

「宿題のほかにも 家庭学習(塾 や家庭教師をのぞく)をしていますか。(自主学习ノートを含む)」
(69.0%→61.9%)

「困ったことや心配なことがあったら、先生に言いますか。」(77.8%→71.8%)

また、各学年では1～2項目10%以上減少した項目があり、ある程度減少した項目も次の通りである。

【1年】

「宿題のほかにも 家庭学習(塾 や家庭教師をのぞく)をしていますか。(自主学习ノートを含む)」
(92.5%→82.5%)

「何でも話せる、仲のよい友だちがいますか。」(100.0%→90.0%)

【2年】

「授業中、質問や意見を言いますか。」(82.5%→66.7%)

「困ったことや心配なことがあったら、先生に言いますか。」(86.0%→71.2%)

「朝ごはんを食べて、登校していますか。」(96.5%→88.3%)

【3年】

「背筋を伸ばし、良い姿勢で学習をしていますか。」(77.6%→59.3%)

「外あそびや 運動をしていますか。」(93.1%→78.0%)

「学校が 楽しいですか。」(96.6%→86.4%)
「授業中、質問や意見を言いますか。」(69.0%→59.3%)
「家で、本を読みますか。(宿題をのぞく)」(74.1%→64.4%)
「学校のきまりを守っていますか。」(98.3%→91.5%)

【4年】

「宿題のほかにも 家庭学習 (塾 や家庭教師をのぞく) をしていますか。(自主学习ノートを含む)」
(78.0%→66.0%)

【5年】

「宿題のほかにも 家庭学習 (塾 や家庭教師をのぞく) をしていますか。(自主学习ノートを含む)」
(56.7%→44.1%)

「月曜日から金曜日までのすいみん時間が8時間より多いですか。」(91.7%→83.1%)

【6年】

「困ったことや心配なことがあったら、先生に言いますか。」(70.6%→57.1%)

(3) 今後の取組課題(肯定的評価が80%未満の6項目を課題とする)

- ①「授業中、質問や意見を言いますか。」(69.2%)
- ②「あなたは、背筋を伸ばし、良い姿勢で学習していますか。」(67.8%)
- ③「宿題のほかにも 家庭学習 (塾 や家庭教師をのぞく) をしていますか。(自主学习ノートを含む)」
(61.9%)
- ④「家で、本を読みますか。(宿題をのぞく)」(70.8%)
- ⑤「困ったことや心配なことがあったら、先生に言いますか。」(71.8%)
- ⑥「家の人に学校のように話を話していますか。」(72.3%)

※これらのうち④⑥については、前期と比べて改善方向にあることが認められる。

3. お子さんに関する保護者アンケート

※中学校と歩調を合わせ、保護者アンケートを実施した。項目も中学校と同一のものとした。

(1) 後期の結果

① A・B(肯定的評価)が高い(80%以上)項目について

14項目(除く携帯電話項目)中13項目において、肯定的評価が80%以上となっている。また、90%以上が8項目である。

② A・B(肯定的評価)が低い(80%未満)項目について

1項目。

「おさんは、宿題の他にも家庭学習(塾や家庭教師は除く)をしていますか」(53.3%)

③ 携帯電話の項目

「お子さんに携帯電話を持たせていますか」

はい… 68人(①0人②8人③7人④13人⑤16人⑥24人)

いいえ… 244人(①38人②51人③49人④37人⑤44人⑥25人)

「携帯電話を持たせている場合、お子さんと使い方についてルールを決めていますか」

はい… 65人(①0人②8人③7人④12人⑤15人⑥23人)

いいえ… 3人(①0人②0人③0人④1人⑤1人⑥1人)

(2) 前期との比較

① A・B評価の合計が10%以上向上した項目

10%以上向上した項目はないが、やや向上してきている項目は次の通りである。

「学校には教育活動に適した施設・設備が整っていると思いますか。」(84.8%→91.0%)

「学校は、保護者・地域住民からの声に耳を傾けていると思いますか。」(85.2%→89.4%)

② A・B評価の合計が10%以上減少した項目

10%以上減少した項目はないが、減少した項目は次の通りである。

「おさんは、宿題の他にも家庭学習(塾や家庭教師は、除く)をしていますか。」

(64.4%→62.6%)

(3) 「評価項目に関わって」からの抜粋

○学校では友達に不快な思いをさせる言葉としていくつか例を挙げているようだが、実際には登下校中にその

ような言葉を言っている子ども達がいることを知った。高学年であればなおさらそのような言動がないように指導をお願いしたい。家庭でいくら言葉づかいなどのしつけをしても学校で悪い言葉を覚えて来るので困る。

- 清流祭の中止について、子どもにもPTAにも相談せず、通知のみだったことには憤りを感じる。
- 友だち同士でもトラブルがあるため簡単に相談することができないため、本人の中でどうしたらいいかわからず、先生にも相談するのが嫌だと言っていたので、週に一回でもいいので、カウンセラーの先生などがいた方がいいと思う。子どもや親が話せる先生として。
- 小中一貫校になっていますがどんな所を意識して教育活動を行っているかが親からするとよく分からないので学年だよりなどを通してくわしく書いてほしい。

(4) 今後の取組課題（肯定的評価が85%未満の3項目を課題とする）

- 「学校は、小中一貫校（分離型）教育を意識して教育活動に取り組んでいると思いますか。」（81.9%）
- 「お子さんは、宿題の他にも家庭学習（塾や家庭教師は、除く）をしていますか。」（62.6%）
- 「お子さんには、困ったことがあった時に相談などのできる友だちがいると思いますか。」（82.7%）

II まとめ(成果と課題)。

まずは基本的な考え方として、「改善」をしていくための学校評価でなければならない。したがって、理想を追い求め、「かくありたい」と願うだけではなく、実行可能な具体的な方策を以下に示したい。そして、実行できるものは、来年度からではなく、すぐに取り組む。

さて、「教職員自己評価」「児童アンケート」「保護者アンケート」の結果から、前期と同様、今後も以下の事柄について更なる改善をしていく必要がある。

(1) 学力向上のための取組

【成果】

- 昨年度から南アルプス市「学びの質を高める授業づくり推進事業」の指定を受け、11月には「公開研究会」を開催した。早稲田大学教職大学院田中博之教授をはじめ、多くの先生方の指導を受けながら、全教職員が一丸となって「授業改善」に取り組んできた。八田小中スタンダードの構築、定着が進んできた。
- 1学期に比べ、校舎内を徘徊する児童がほとんどなくなり、落ち着いて学習に向かえる環境が整ってきた。

【課題】

- 家庭学習（宿題や塾の課題を除く）において、自主学習に取り組んでいく姿勢に弱さがある。
- 徘徊する児童がほとんどなくなっていることにより、本来の指導体制の中で、低学力の児童への支援を行い、全体としての学力を上げていく。

【対策】

- 八田小中スタンダードを継続し、全クラスでの学力を担保する取組を続けていく。
- アクティブラーニングを授業に取り入れ、「主体的、対話的な深い学び」を行うことにより、能動的、協働的な学習態度を身に付けさせていく。
- 自主学習ノートの取組において、よい事例を発信し、意欲向上につなげる。無理なく、継続的に行える方法を研究し、習慣化へ結びつける。
- 徘徊してしまう児童においても、落ち着いて学習に取り組めるよう、児童理解、保護者対応、人的・物的環境の整備をさらに進め、本来の指導体制が、安定的に行えるようにする。

(2) いじめ・不登校に対する取組

【成果】

- 2学期間でいじめを7件認知し、①解消している（7件）。重大事態（生命心身財産重大事態・不登校重大事態）は、今の所ない。
- 2学期間で累計30日を超える長期欠席者は1名（病気等による欠席32日）いる。不登校児童は、今の所ない。

【課題】

- いっどこで、だれがいじめの対象、いじめる側になるか、予測しにくい面がある。
- 怠学などにより、不登校傾向を示す児童がいる。

【対策】

- 定期的ないじめアンケートの実施。
- 学級力アップのための居心地アンケートを実施し、各クラスで、居心地のいいクラスにしていくためにどのようにしていくかを話し合う。
- Q-U調査を活用し、児童指導、学級経営を行う。
- いじめの未然防止のための児童観察・児童理解を尚一層進める。

- 児童・保護者とのコミュニケーションを密に行う。
- 家庭との連携を図り、保護者も含めSC（スクールカウンセラー）を活用し、いじめ・不登校の早期解決を行う。
- 楽しく、充実した学校生活を送れるよう、なお一層の経営努力を継続する。

(3) 保護者および地域の人的・物的資源の利活用

【成果】

- 子どもを守る会をはじめ、地域の大勢の方に見守られ、安全に登下校ができるよう配慮が行われている。
- 総合的な学習において、「昔の遊び」「米作り」など地域の方々の協力により、大変助かっている。
- ふるさと文化伝承館の利用、地域のデイケア施設訪問などにより、実体験を基にした学習が進められている。

【課題】

- 今協力いただいている方々に、継続して力を貸していただきたい。
- 新たな、人的・物的資源を見つけ出し、更なる教育活動の充実につなげたい。

【対策】

- 子どもを守る会代表者会の定期開催の継続。感謝の言葉を伝える。
- 教育課程を見直し、人的・物的資源を計画的に取り入れていく上で、積極的に学校ボランティアを利用していくことを職員間で確認していく。
- 他校や他地域の情報を参考に新たな人的物的資源を見つけ、活用方法を考える。
- 積極的に地域の人的・物的資源を活用していくよう意識し、取り入れていくことを職員間で確認する。